

ギャツビー ヘアカラーシリーズ パワーと鮮度をアップして全面リニューアル！



ギャツビー ヘアカラーシリーズ

前列左から、 EXハイブリーチ、ナチュラルブリーチ、ターンカラー ナチュラルブラック/スモーキーブラック/ブラックブラウン、 ターンカラー Sprey ナチュラルブラック、 ターンカラーフォーム ナチュラルブラック、 ポイントハイブリーチ ブラチナメッシュ、 ポイントナチュラルブリーチ ニュアンスメッシュ、 ポイントカラーワックス ライトブラウン

後列左から、 ナチュラルブリーチカラー ミリタリーモカ/グランジモカ/クラシックモカ/マッドチェリー/ハニーオレンジ/アッシュキャラメル/クリアブラウン/クリームベージュ/ソリッドアッシュ/アクアシルバー/エンジェルブラチナ

以外は全て医薬部外品

株式会社マダム（本社：大阪市、社長執行役員：西村元延）では、ギャツビー ヘアカラーシリーズより、ナチュラルブリーチカラー全11色、ターンカラーシリーズ5アイテム、ブリーチシリーズ2アイテム、ポイントカラーシリーズ3アイテムを、2007年2月8日(木)より全国で発売します。

発売背景

'06秋のムービングラバーシリーズ発売を機に、今ギャツビーは大きく変わろうとしています。そしてこの春、“かっこいい”だけではなく、“かわいい” “ソフトなイメージ”を好み、モノのデザインにこだわるヤング層に向け、男性ヘアカラーNo.1(マダム調査)シェアのギャツビーが全面リニューアルします。

2001年のヘアカラー発売当時、“茶髪” “金髪” ブームに乗って、男性ヘアカラー市場は大きく飛躍しました。その後、“ダークトーン” “黒髪”へのトレンドの移行や、ヘアサロン利用により、市場は縮小傾向にありますが、ヘアカラーはファッションに欠かせない要素として定着しています。

若者たちは、時代とともに変化するトレンドを適度に取り入れながら、自分に合ったカラーリングを楽しんでおり、カラーバリエーションへのニーズもより多様化しています。ここ数年はブラウン系のダークカラーが主流になっているものの、今後は明るめのカラーに挑戦してみたいというユーザーが増えており、中明度・高明度カラーも人気復活の兆しを見せています。

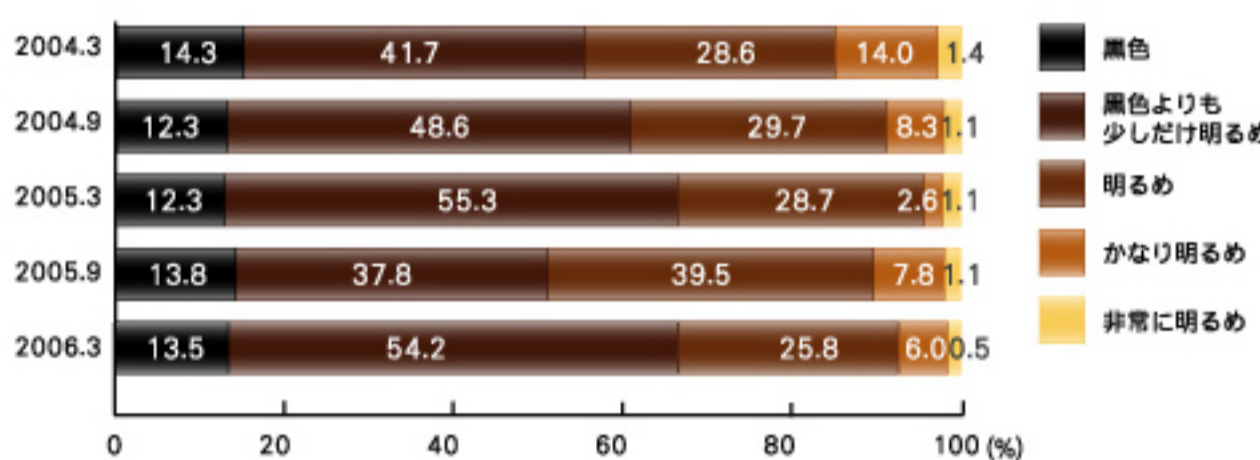
そこでギャツビーでは、新開発のクリスタル処方により染色力の向上・ニオイの低減・手触り感向上を図った「ナチュラルブリーチカラー」をはじめ、ブリーチシリーズ、ターンカラーシリーズ、ポイントカラーシリーズの全面リニューアルを行います。

「ナチュラルブリーチカラー」は、若者のトレンドを知り尽くした有名ヘアサロンとのコラボレーションにより、低明度・中明度・高明度カラーまで幅広くカバーしながらトレンドを押さえた新11色をラインナップ。色の違いがひと目でわかり、仕上がりイメージしやすい新パッケージに変更します。

ブリーチシリーズ、ターンカラーシリーズ、ポイントカラーシリーズも、機能を向上するとともに、商品性能をストレートにわかりやすくアピールするパッケージに変更します。

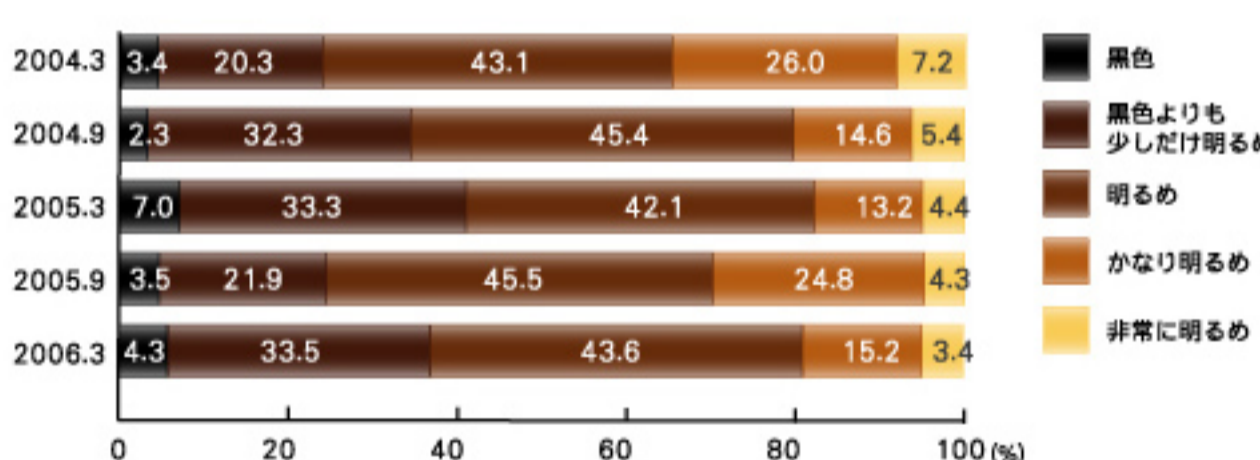
現在の髪色

(2004年～2006年 マダム調査 男性：10～30代 首都圏 N=350)



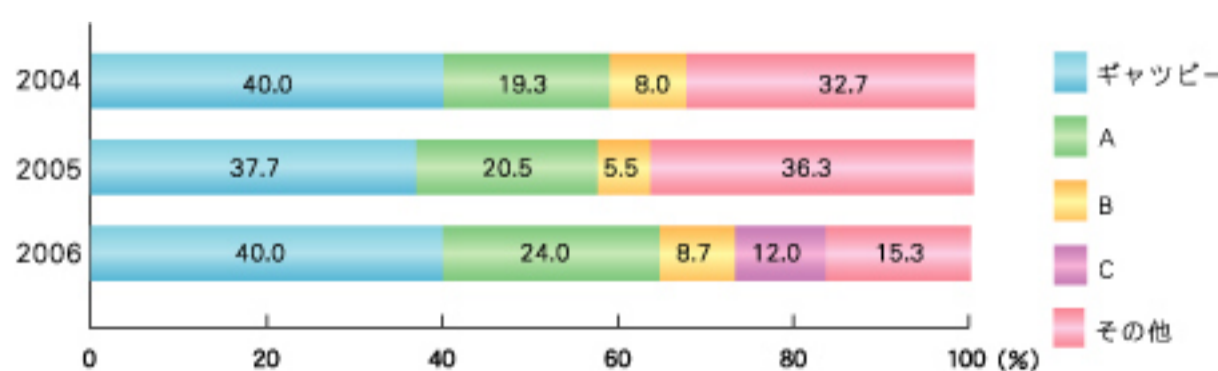
今後したい髪色

(2004年～2006年 マダム調査 男性：10～30代 首都圏 N=350)



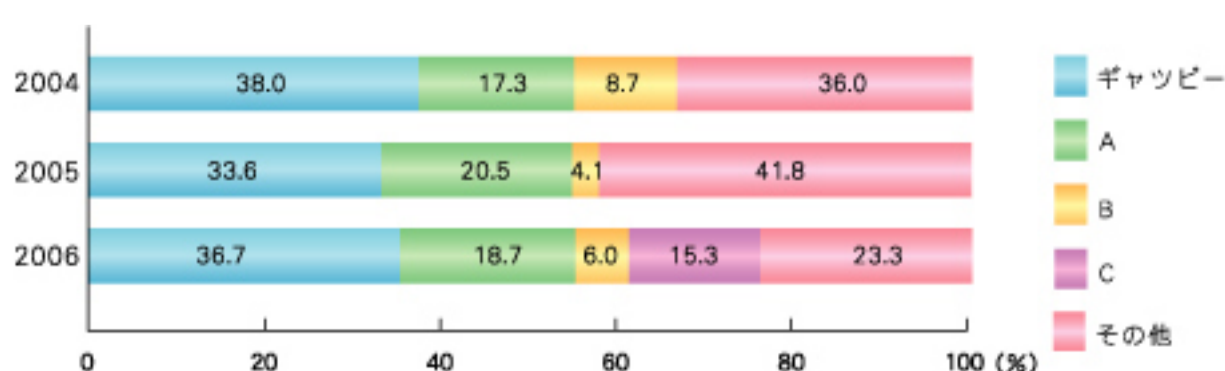
各ブランド使用率

(2004年～2006年 マダム調査 男性：高校生～20代前半ヘアカラーユーザー 首都圏 N=150)



各ブランド使用意向

(2004年～2006年 マダム調査 男性：高校生～20代前半ヘアカラーユーザー 首都圏 N=150)



商品概要

[ブランド名] ギャツビー
 [発売日] 2007年2月8日(木)
 [発売場所] 全国のドラッグストア、コンビニエンスストア、ホームセンター、その他

- [▶ ナチュラルブリーチカラー 商品概要](#)
- [▶ EXブリーチ・ナチュラルブリーチ 商品概要](#)
- [▶ ターンカラー 商品概要](#)
- [▶ ポイントカラー 商品概要](#)